

お問い合わせ番号：

宣言：

データ抽出日時点で「ひろしま企業健康宣言」にまだエントリーされていないので、ぜひ、エントリーをお願いします。

令和4年度作成版
ヘルスケア通信簿
サンプル版



協会けんぽ広島支部は「健康づくりの好循環」の定着・拡大を目指しています！

ヘルスケア通信簿®

【同業種集計版】

令和4年度作成版



～ 安定した経営は従業員の健康づくりから。「健康経営®」を始めましょう ～
協会けんぽの事業運営にご協力いただきましてありがとうございます。

この「ヘルスケア通信簿®」は、過去3年間の健診結果や実際の医療費をもとに作成したものであり、従業員の皆様の健康に関する傾向や分析結果を把握していただき、貴社内での健康づくりや保健事業に活用していただくための支援ツールです。

なお、事業所ごとの「ヘルスケア通信簿」は、個人情報保護の観点から被保険者10名未満の事業所様にご提供することができません。そのため、貴社と同業種の事業所を集計したヘルスケア通信簿「同業種集計版」をお送りしますので、ご活用ください。

令和4年11月10日
(データ抽出日)

※ 令和4年11月現在の情報をもとに作成しています。



 全国健康保険協会 広島支部
協会けんぽ

支部長

神 田 知 幸

※ヘルスケア通信簿を活用した弊支部の健康づくり事業が、第4回「健康寿命をのばそう! Award」厚生労働大臣 団体部門 優秀賞を受賞しました。

※ヘルスケア通信簿®は全国健康保険協会の登録商標です。 ※健康経営®はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

医療費

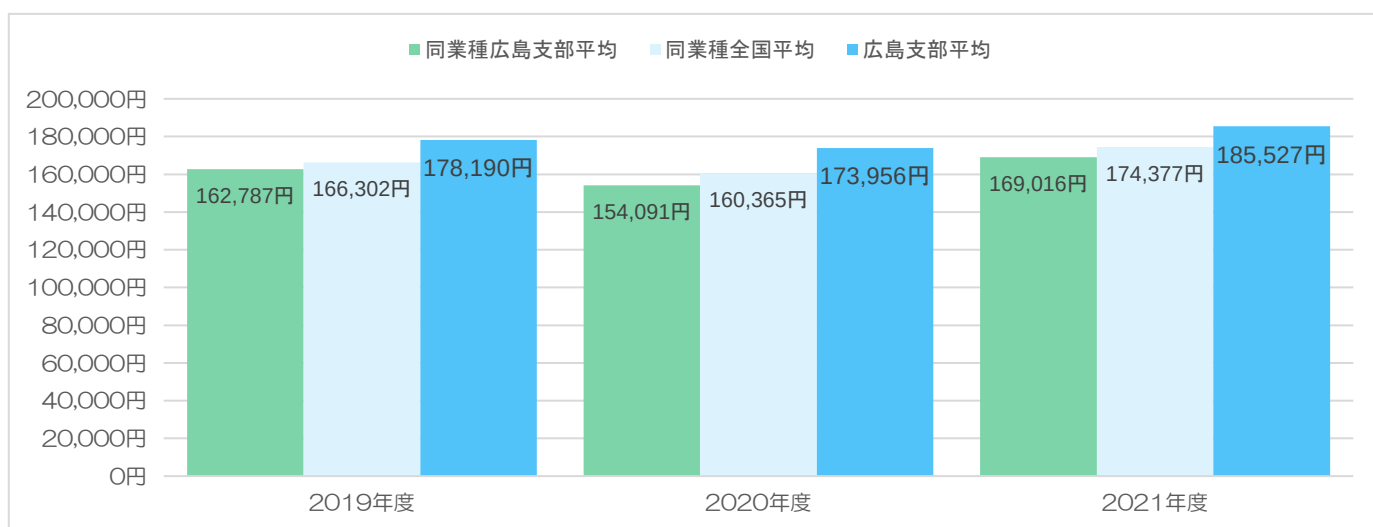
※加入者数および被保険者数は、年度末時点の人数です。

●加入者(従業員と家族) 1人あたりの年間平均医療費の比較(0～74歳)

2019年度 87,974 名 2020年度 86,955 名 2021年度 84,355 名

業 種
機械器具製造業
対象事業所
2,237 社

		医療費			単位：円	
			入院	入院外	歯科	
同業種 広島支部 平均	2019年度	162,787	44,721	99,489	18,577	
	2020年度	154,091	42,188	92,977	18,926	
	2021年度	169,016	44,858	104,232	19,926	
同業種全国平均(2021年度)		174,377	46,495	107,110	20,773	
広島支部平均(2021年度)		185,527	50,514	113,788	21,224	

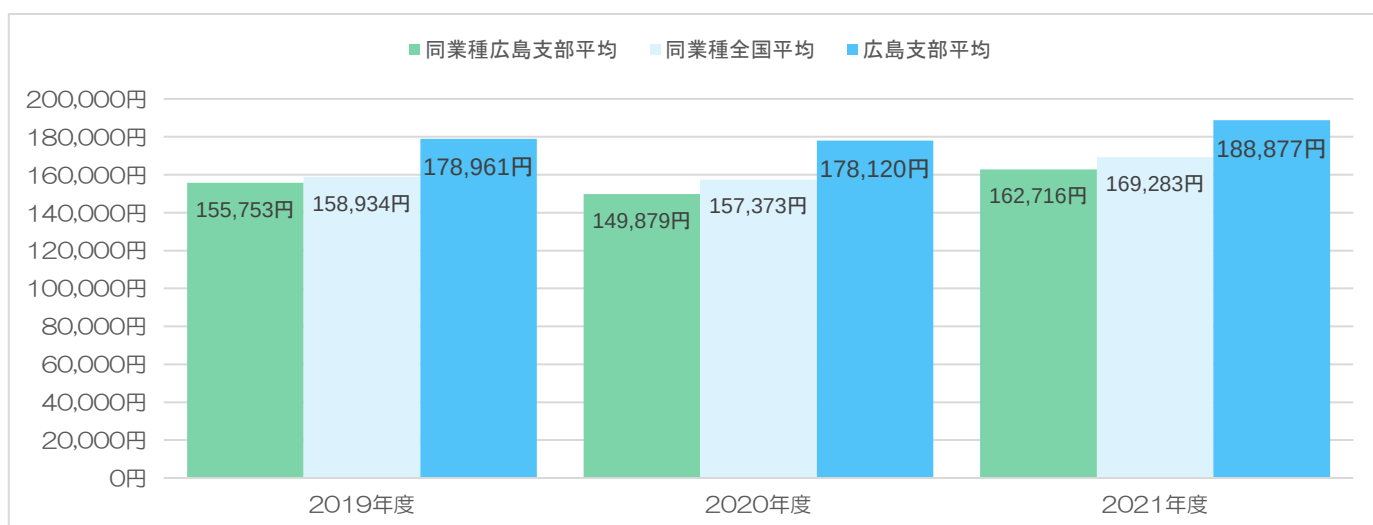


●従業員(被保険者) 1人あたりの年間平均医療費の比較(0～74歳)

2019年度 48,302 名 2020年度 47,846 名 2021年度 46,346 名

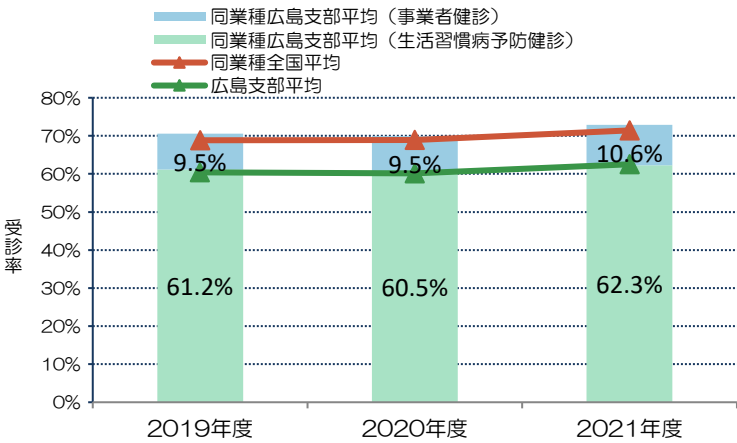
業 種
機械器具製造業
対象事業所
2,237 社

		医療費			単位：円	
			入院	入院外	歯科	
同業種 広島支部 平均	2019年度	155,753	42,220	94,051	19,481	
	2020年度	149,879	40,069	89,886	19,923	
	2021年度	162,716	43,373	98,622	20,720	
同業種全国平均(2021年度)		169,283	43,563	104,311	21,409	
広島支部平均(2021年度)		188,877	50,478	115,791	22,607	



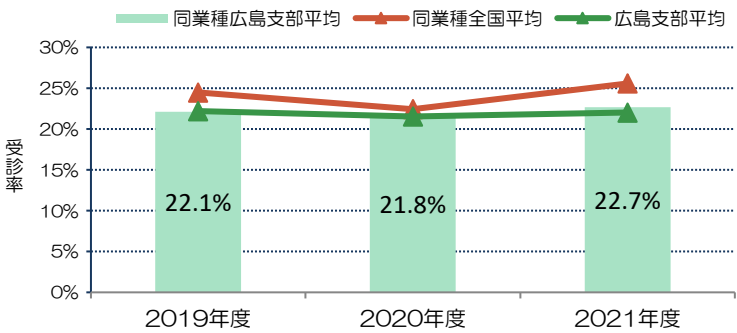
健診受診率について

●従業員（被保険者）の生活習慣病予防健診と事業者健診データ(ご提供分) 受診率(40歳以上)



生活習慣病 予防健診受診率		2019 年度	2020 年度	2021 年度
同業種広島支部平均 (生活習慣病予防健診)	人数	16,699	16,829	17,499
	割合	61.2%	60.5%	62.3%
同業種広島支部平均 (事業者健診)	人数	2,585	2,634	2,982
	割合	9.5%	9.5%	10.6%
同業種全国平均	-	68.8%	68.9%	71.4%
広島支部平均	-	60.4%	60.1%	62.5%

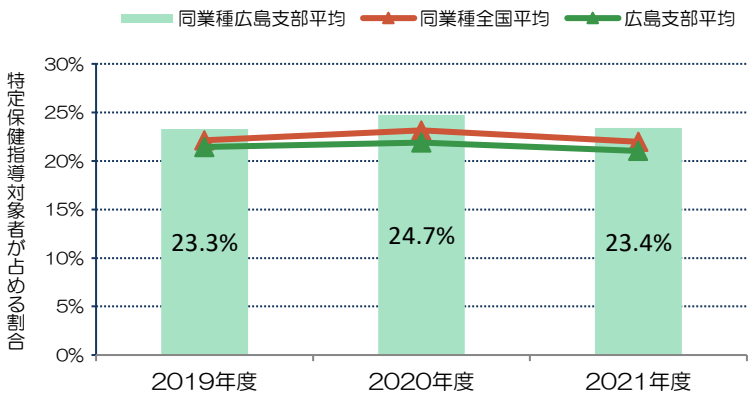
●従業員の家族(被扶養者)の特定健診受診率(40歳以上)



特定健診 受診率		2019 年度	2020 年度	2021 年度
同業種広島支部平均 (特定健診)	人数	2,166	2,105	2,124
	割合	22.1%	21.8%	22.7%
同業種全国平均	-	24.5%	22.4%	25.6%
広島支部平均	-	22.2%	21.5%	22.0%

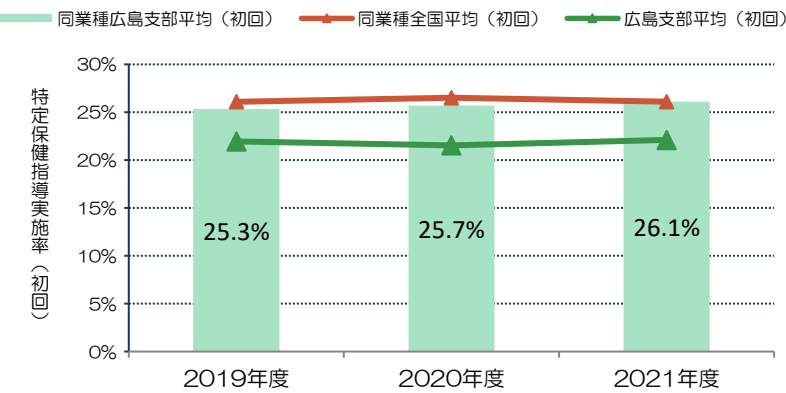
特定保健指導実施率について

●従業員（被保険者）の健診受診者のうち、特定保健指導対象者数とその割合



特定保健指導 対象者の割合		2019 年度	2020 年度	2021 年度
同業種広島支部平均	人数	4,422	4,761	4,701
	割合	23.3%	24.7%	23.4%
同業種全国平均	-	22.1%	23.2%	22.0%
広島支部平均	-	21.4%	21.9%	21.0%

●上記のうち、特定保健指導を受けた人数とその割合



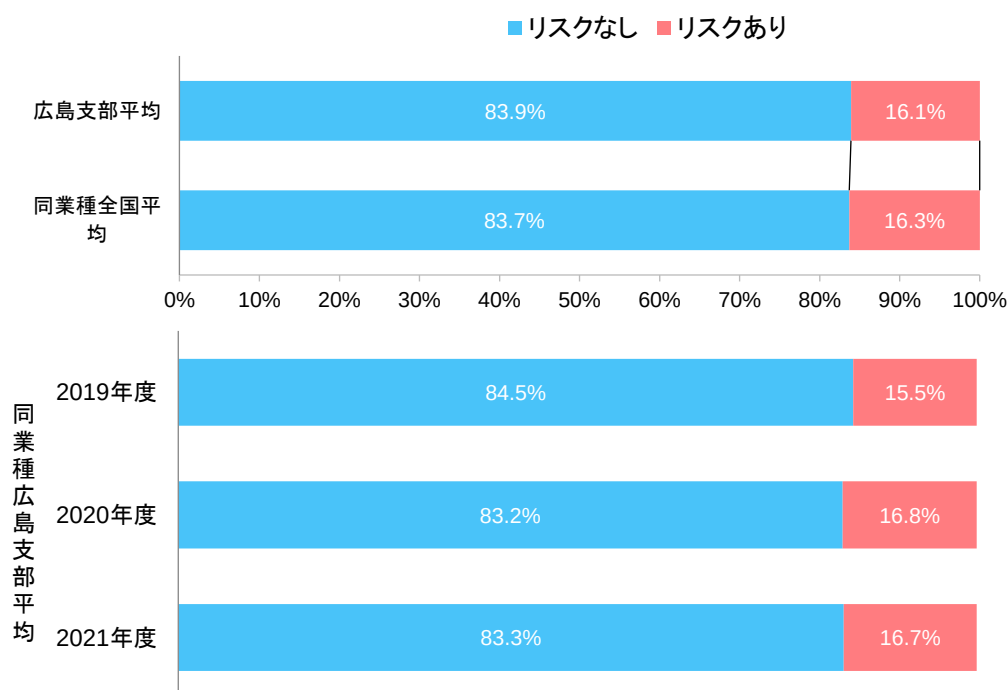
特定保健指導 実施率		2019 年度	2020 年度	2021 年度
同業種広島支部平均 (初回)	人数	1,120	1,224	1,227
	割合	25.3%	25.7%	26.1%
同業種全国平均 (初回)	-	26.1%	26.5%	26.1%
広島支部平均 (初回)	-	21.9%	21.5%	22.1%
同業種広島支部平均 (評価)	人数	934	1,041	-
	割合	21.1%	21.9%	-
同業種全国平均 (評価)	-	20.5%	21.4%	-
広島支部平均 (評価)	-	17.5%	17.2%	-

特定保健指導とは？
健診結果に基づき、生活習慣病のリスクに応じた健康支援です。

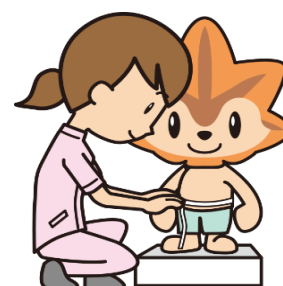
メタボリックシンドロームに該当の方

●メタボリックシンドローム (被保険者)

※協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者（35歳以上）および
事業者健診データ（40歳以上・提供分）を数値化したものです。



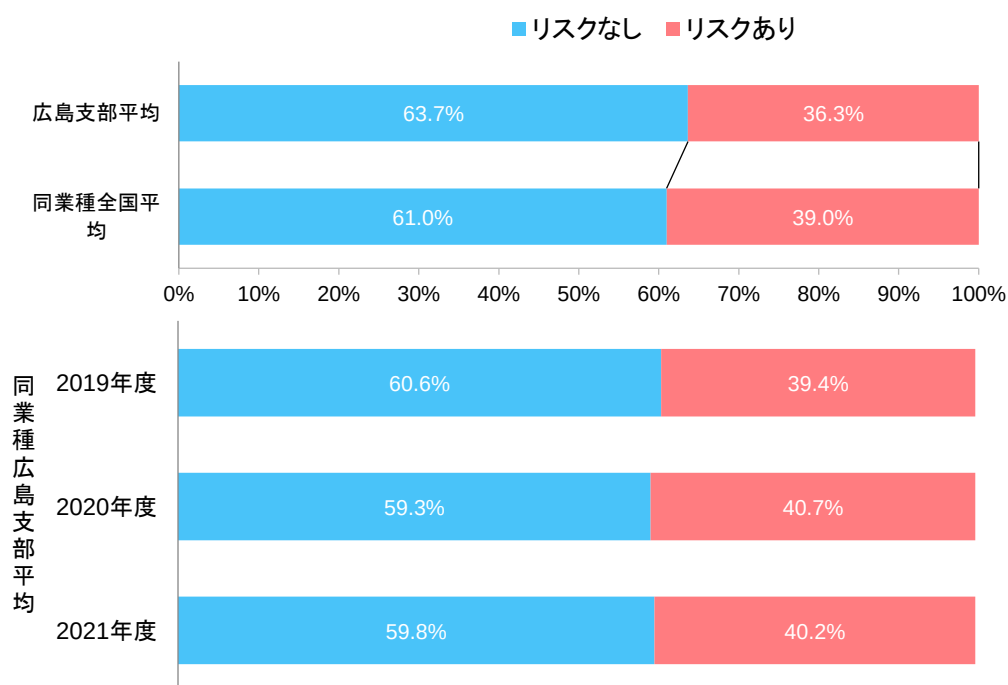
《リスクの判定基準》
腹囲リスクに該当し、
血圧・血糖・脂質リスク
のうち、
2項目以上に該当の方



腹囲リスクをお持ちの方

●腹囲 (被保険者)

※協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者（35歳以上）および
事業者健診データ（40歳以上・提供分）を数値化したものです。



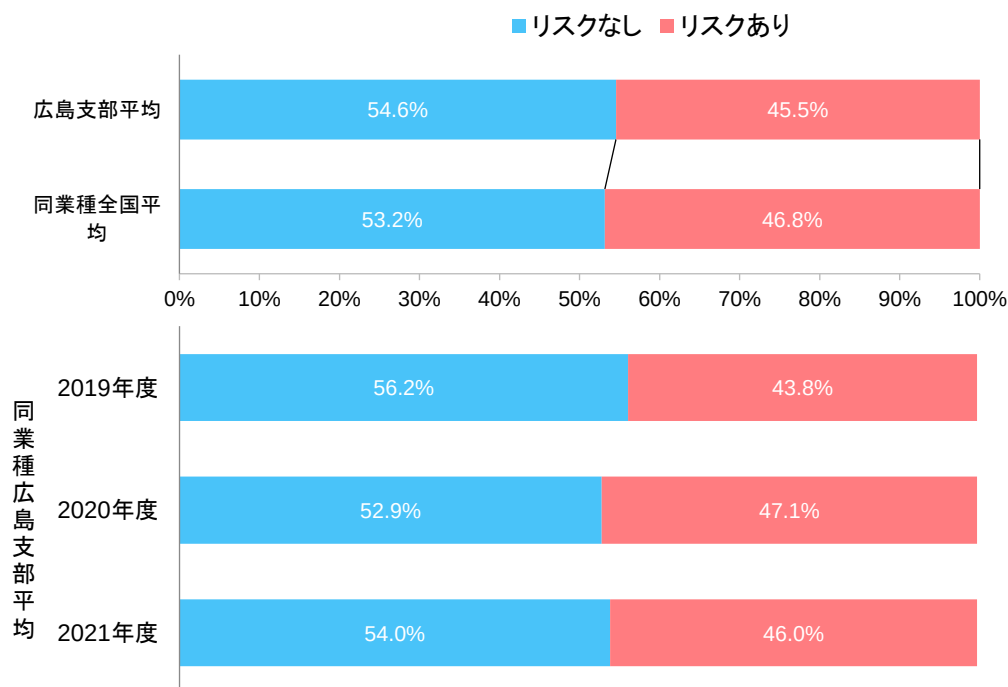
《リスクの判定基準》
内臓脂肪面積：100cm²以上
または
腹囲：男性で85cm以上
女性で90cm以上

症状がなくとも油断は禁物です
内臓脂肪が蓄積すると、脂質異常・高血糖・高血圧などを引き起こします。
これらのリスクが重なると、血管が傷つき動脈硬化が急速に進行するため、心筋梗塞や脳梗塞など命に関わる疾病の原因となります。

高血圧のリスクをお持ちの方

●血圧 (被保険者)

※協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者（35歳以上）および
事業者健診データ（40歳以上・提供分）を数値化したものです。



《リスクの判定基準》

収縮期:130mmHg以上
または拡張期:85mmHg以上
または服薬ありに該当する者

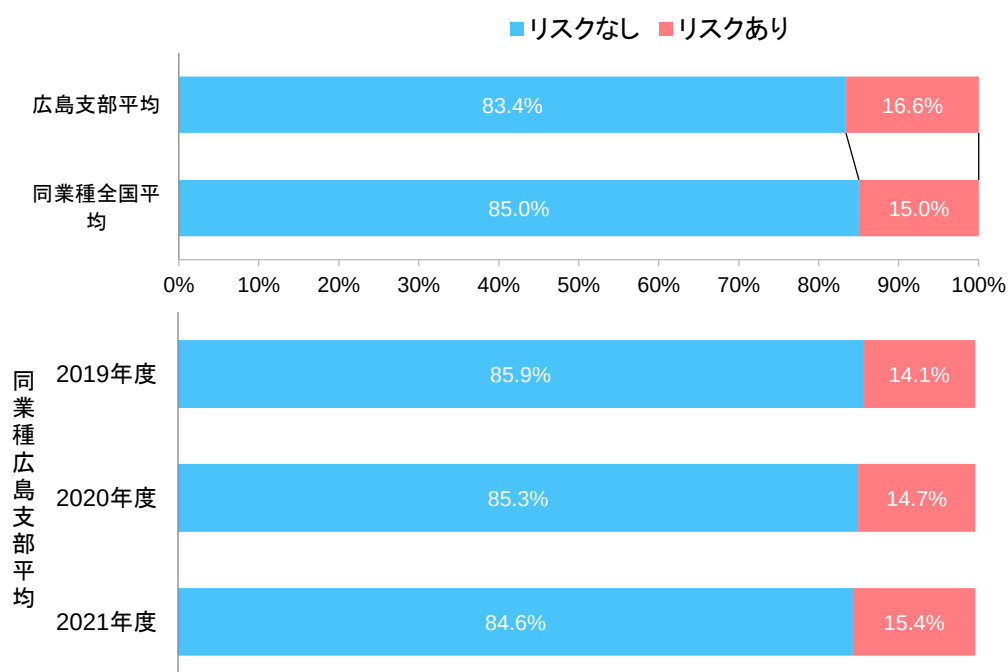
血圧とは？

心臓から送り出された血液が全身へ流れる時、血管の内側にかかる圧力のことをいいます。心臓が送り出す血液の量(心拍出血)と、末梢血管を血液が流れる時に受ける抵抗力(末梢血管抵抗)などで決まります。肥満や塩分の摂りすぎ、アルコールの飲み過ぎ、喫煙などで高くなり、この状態が続くと動脈硬化を進めます。

糖尿病のリスクをお持ちの方

●血糖 (被保険者)

※協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者（35歳以上）および
事業者健診データ（40歳以上・提供分）を数値化したものです。



《リスクの判定基準》

空腹時血糖:110mg/dl以上
またはHbA1c:6.0%以上
または服薬ありに該当する者

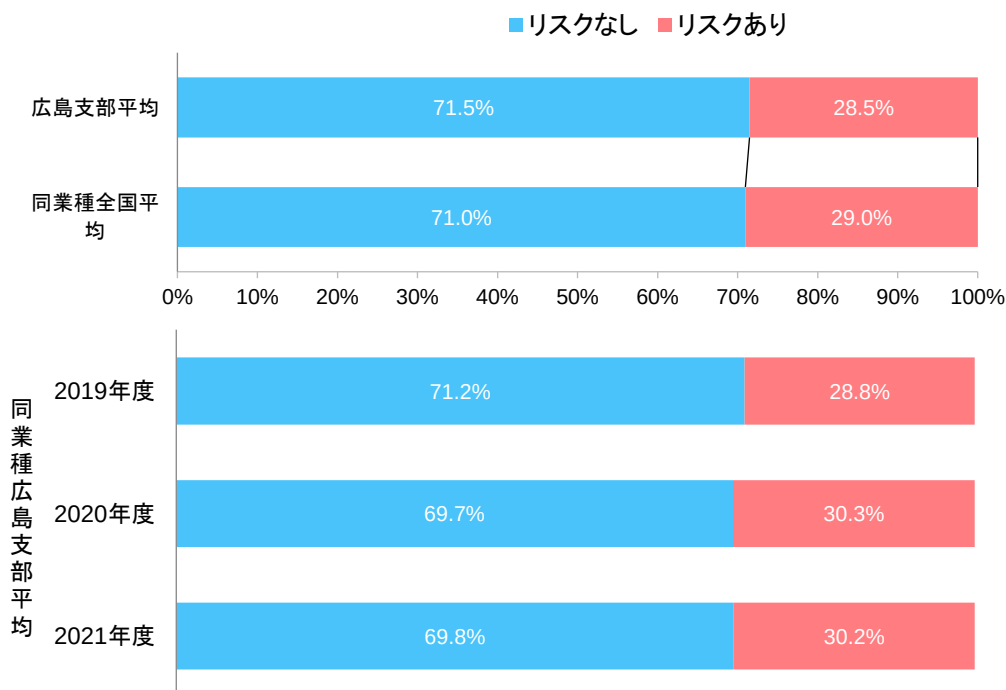
血糖とは？

血糖は血液中のグルコース(ブドウ糖)のことです。食事を食べると血糖値は上がり、血糖値を下げるインスリン(膵臓から出るホルモン)によって正常に保たれています。肥満、食べ過ぎ・飲み過ぎ、運動不足などで、膵臓が疲労しインスリンの量が減ったり、十分な働きができなくなると、血糖値が高い状態が続きます。この状態が続くと全身の血管を傷つけます。

脂質異常症のリスクをお持ちの方

●脂質 (被保険者)

※協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者（35歳以上）および
事業者健診データ（40歳以上・提供分）を数値化したものです。



《リスクの判定基準》

中性脂肪: 150mg/dl以上
またはHDLコレステロール
: 40mg/dl未満
または服薬ありに該当する者

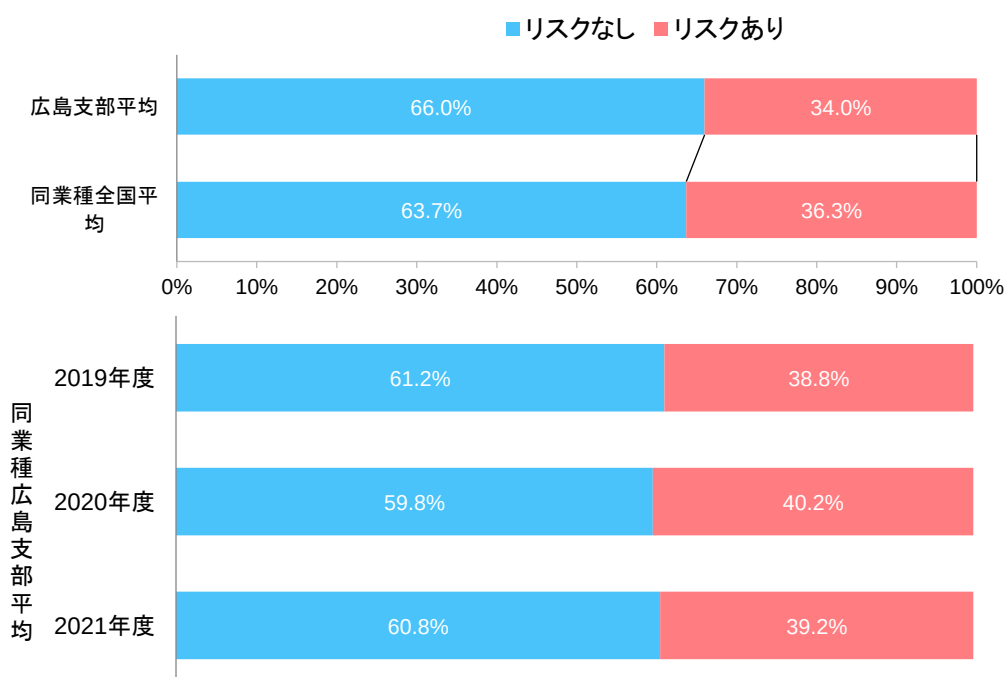
中性脂肪とは？

中性脂肪は食事で食べた脂肪や糖質を材料として肝臓で作られ、血液によって全身に運ばれて、人が活動するための重要なエネルギー源となります。増えすぎると肥満や脂肪肝の原因となり、生活習慣病や動脈硬化を引き起こします。

肝機能のリスクをお持ちの方

●肝機能 (被保険者)

※協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者（35歳以上）および
事業者健診データ（40歳以上・提供分）を数値化したものです。



《リスクの判定基準》

AST: 31 IU/L以上
またはALT: 31 IU/L以上
またはγ-GTP: 51 IU/L以上

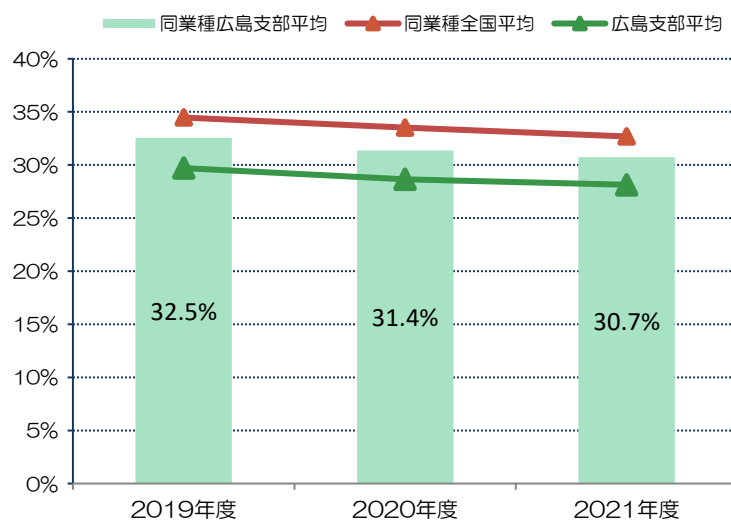
γ-GTPとは？

γ-GTPは肝臓で作られる酵素で、たんぱく質を分解・合成する働きがあります。肝臓や胆管(胆汁の通り道)、胆汁(脂肪を消化する)に含まれます。アルコールを飲むと敏感に反応し、飲み過ぎると作られる量が増えて血液中の数値が上がります。アルコール以外では、肥満、肝臓・胆管などに異常がみられると数値が上がります。

喫煙率について

●喫煙率 (被保険者)

※協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者（35歳以上）および
事業者健診データ（40歳以上・提供分）を数値化したものです。



※低い方がよい状態

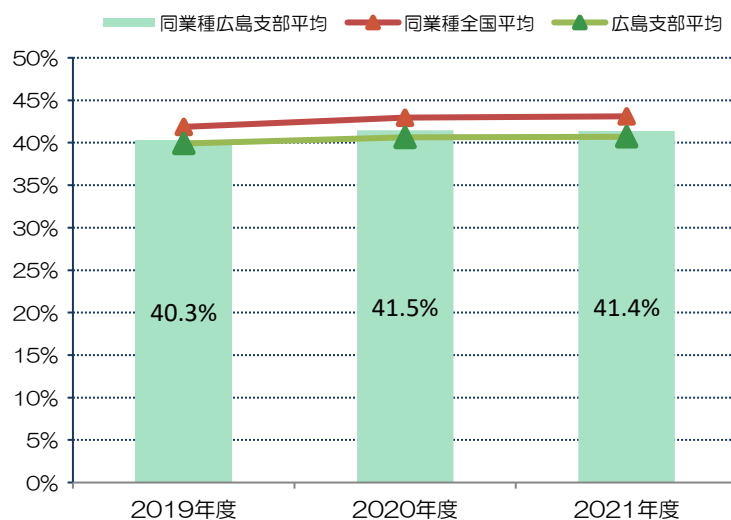
喫煙率	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	32.5%	31.4%	30.7%
同業種全国平均	34.5%	33.5%	32.7%
広島支部平均	29.7%	28.7%	28.1%

《喫煙のポイント》

- 喫煙は、がんをはじめ、さまざまな疾患の原因になります。喫煙量が増えるほどリスクが上がっていき、たばこに「適量」は存在しません。

20歳の時からの体重の変化について

●20歳の時の体重から10kg以上増加していますか



※低い方がよい状態

20歳の時の体重から10kg以上、増加していますか

	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	40.3%	41.5%	41.4%
同業種全国平均	41.9%	42.9%	43.1%
広島支部平均	39.9%	40.6%	40.7%

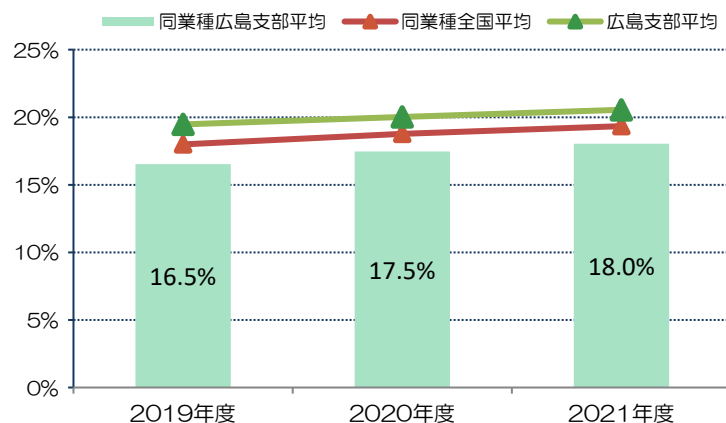
《体重変化について》

- 20歳前後のころと比べて、中年期に体重を5kg以上増加した方は、糖尿病、高血圧症、心血管疾患、がんの発症率が上昇するといわれています。

運動習慣について

● 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している方の割合

※協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者（35歳以上）および事業者健診データ（40歳以上・提供分）を数値化したものです。



※高い方がよい状態

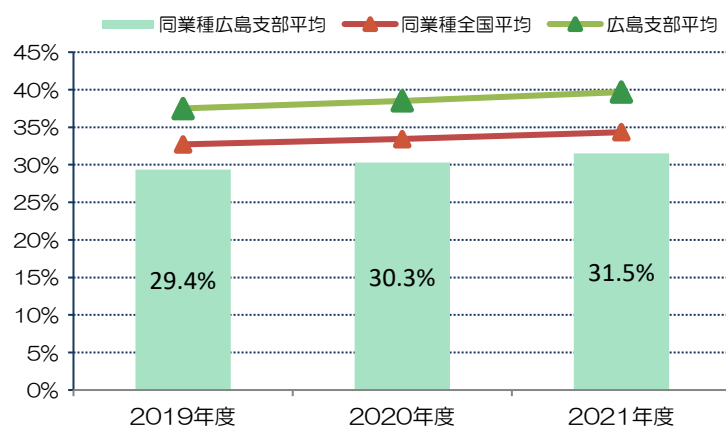
1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している方の割合

	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	16.5%	17.5%	18.0%
同業種全国平均	18.0%	18.8%	19.3%
広島支部平均	19.5%	20.0%	20.6%

● 日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している方の割合

※高い方がよい状態

日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している方の割合

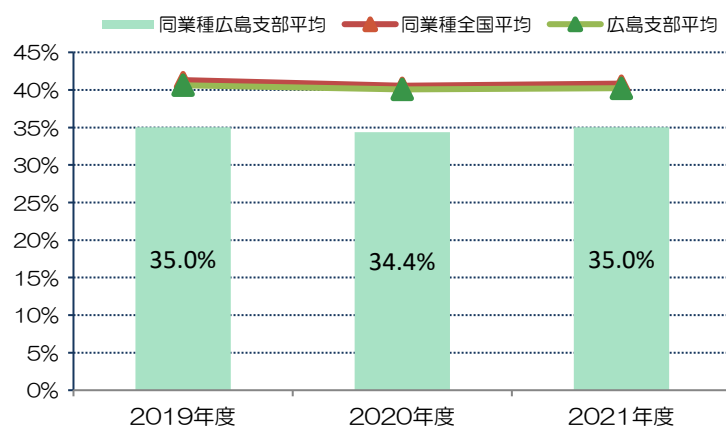


	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	29.4%	30.3%	31.5%
同業種全国平均	32.7%	33.4%	34.3%
広島支部平均	37.5%	38.5%	39.7%

● ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い方の割合

※高い方がよい状態

ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い方の割合



	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	35.0%	34.4%	35.0%
同業種全国平均	41.3%	40.6%	40.8%
広島支部平均	40.6%	40.1%	40.2%

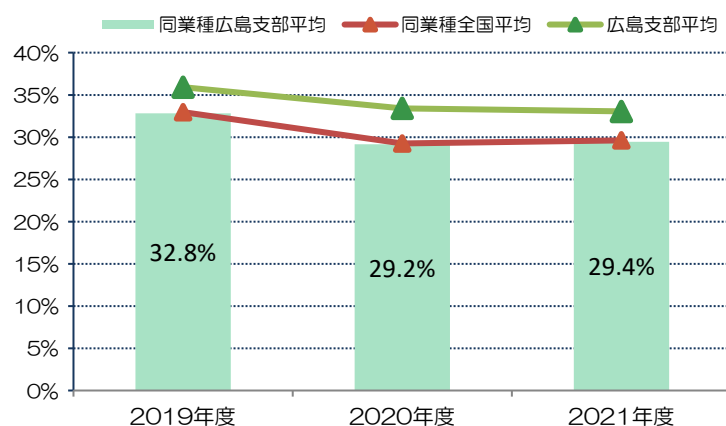
《運動習慣のポイント》

- 適度な運動は、骨を丈夫にし、筋肉を強化することはもちろん、運動により消費エネルギーが増えるので、肥満の予防・改善につながります。また、適度な運動には、高血圧や糖尿病、動脈硬化に対する直接的な予防・改善効果もあります。他にも心肺機能を高める、ストレス解消になる、良い睡眠につながるなど、健康な方にも、様々な効果が期待できます。
- 日常生活で行う動作に、ちょっとした工夫を加えるだけで、運動量を増やすことができます。

食事習慣について

●就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある方の割合

※協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者（35歳以上）および事業者健診データ（40歳以上・提供分）を数値化したものです。

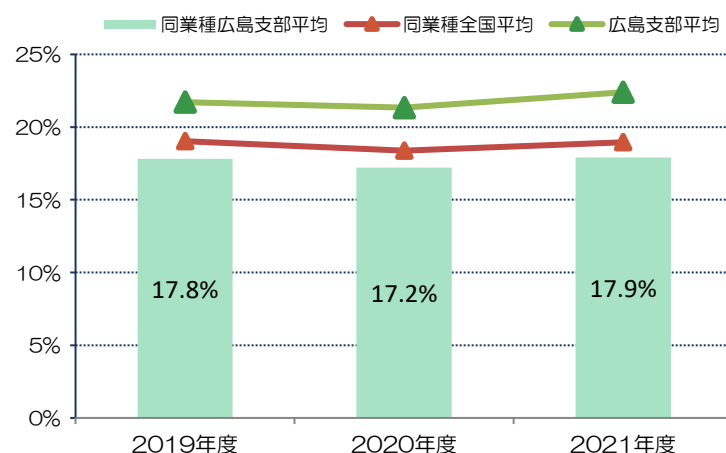


※低い方がよい状態

就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある方の割合

	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	32.8%	29.2%	29.4%
同業種全国平均	33.0%	29.3%	29.6%
広島支部平均	35.9%	33.4%	33.1%

●朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している方の割合

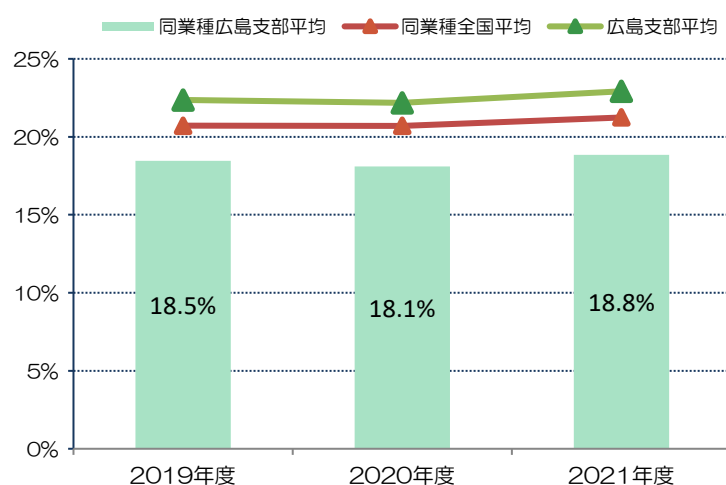


※低い方がよい状態

朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している方の割合

	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	17.8%	17.2%	17.9%
同業種全国平均	19.0%	18.4%	19.0%
広島支部平均	21.7%	21.3%	22.4%

●朝食を抜くことが週に3回以上ある方の割合



※低い方がよい状態

朝食を抜くことが週に3回以上ある方の割合

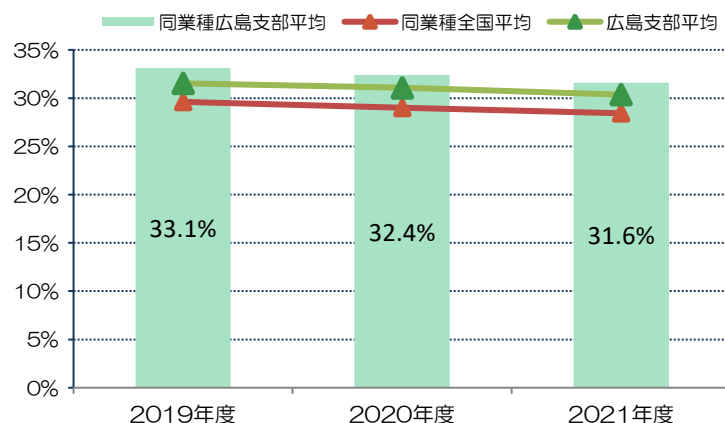
	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	18.5%	18.1%	18.8%
同業種全国平均	20.7%	20.7%	21.2%
広島支部平均	22.4%	22.2%	22.9%

《食事習慣のポイント》

- 野菜はなるべく、1日に350g以上とりましょう。また、野菜を先に食べることで、糖分の吸収がゆるやかになり、血糖値が上昇しにくいこともわかっています。
- 塩分のとりすぎに注意しましょう。塩分は1日男性7.5g未満、女性6.5g未満の摂取が適量です。また、すでに高血圧が疑われている人は、1日6g未満にしましょう。
- 油を大量に使った食事はなるべく控えましょう。
- ゆっくりとよく噛む食習慣の実践により、生活習慣病の改善や、肥満や糖尿病のリスクを低下できると言われています。

飲酒について

●お酒を毎日飲む方の割合



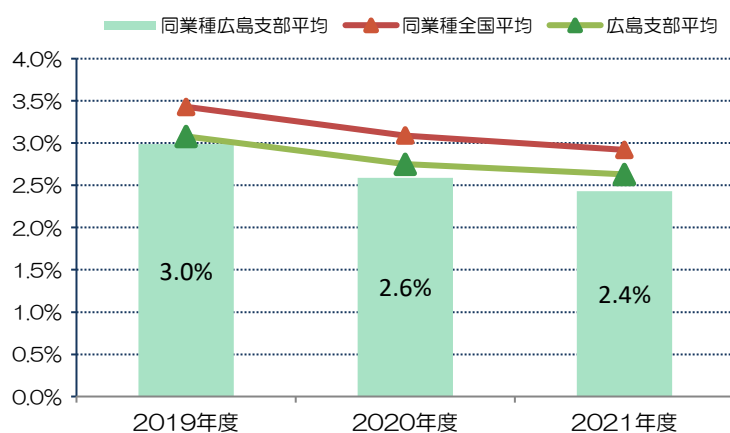
※協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者（35歳以上）および事業者健診データ（40歳以上・提供分）を数値化したものです。

※低い方がよい状態

お酒を毎日飲む方の割合

	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	33.1%	32.4%	31.6%
同業種全国平均	29.6%	29.0%	28.4%
広島支部平均	31.5%	31.1%	30.4%

●飲酒日の1日当たりの飲酒量が3合以上の方の割合



※低い方がよい状態

飲酒日の1日当たりの飲酒量が3合以上の方の割合

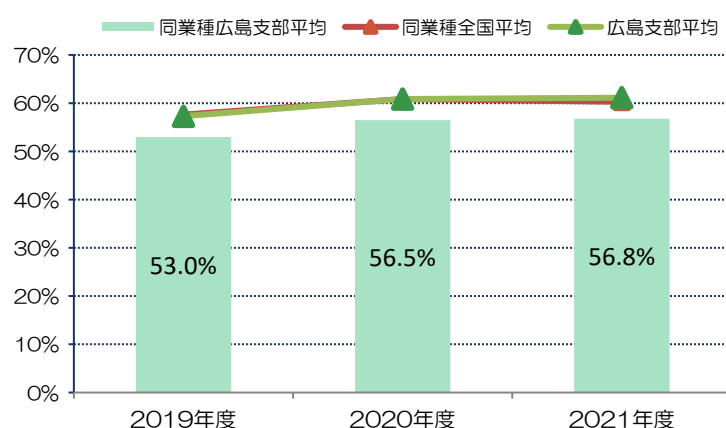
	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	3.0%	2.6%	2.4%
同業種全国平均	3.4%	3.1%	2.9%
広島支部平均	3.1%	2.8%	2.6%

《飲酒習慣のポイント》

- 過度の飲酒はさまざまな生活習慣病の原因となります。お酒をたしなむときは、自分のペースを守り、「適量」を守ることが大切です。
- たとえ適量であっても、毎日飲むのはよくありません。週に2日はお酒を飲まない「休肝日」をつくり、肝臓を休ませることも大切です。

睡眠について

●睡眠で休養が十分取れている方の割合



※高い方がよい状態

睡眠で休養が十分取れている方の割合

	2019年度	2020年度	2021年度
同業種広島支部平均	53.0%	56.5%	56.8%
同業種全国平均	57.6%	60.9%	60.3%
広島支部平均	57.3%	60.9%	61.1%

《睡眠習慣のポイント》

- 健康を維持するためには、十分な睡眠を確保する必要があります。まずはしっかりと睡眠をとることが重要です。夜ふかしを控え、規則正しい睡眠をとりましょう。

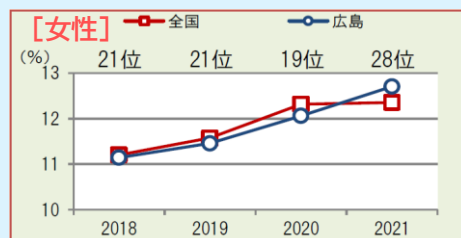
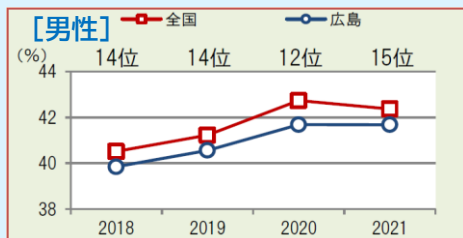
スコアリングレポートから見る広島支部加入者の特徴について

協会けんぽでは、保有する健診や医療費データをもとに、支部ごとの健診・問診結果等の経年変化や比較をグラフ等で見える化した「スコアリングレポート」を作成しています。レポートから見る協会けんぽ広島支部加入者の40歳から74歳の「健康状態」をピックアップしてお知らせします。

■ 男性の5人に2人がメタボリックシンドロームに該当（予備群含む）

男性は41.7%（全国平均42.4%）、女性は12.7%（全国平均12.4%） ※2021年度（令和3年度）

男性は約4割（5人に2人）の方がメタボリックシンドローム（予備群を含む）に該当

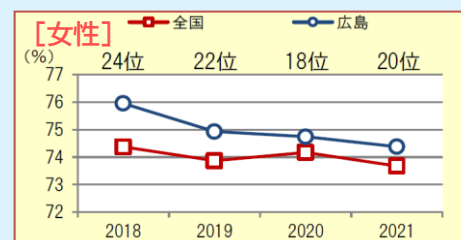
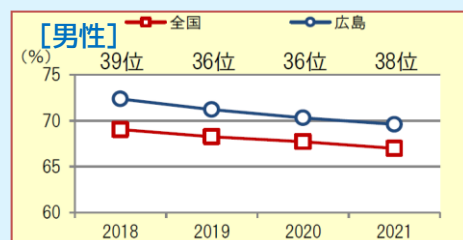


メタボリックリスク保有率と予備群の判定基準：
腹囲リスク該当かつ血圧、血糖（代謝）、脂質のうち1つのリスクに該当する方

■ 運動習慣の改善が必要な方の割合が高い

男性は69.6%（全国平均67.0%）、女性は74.4%（全国平均73.7%） ※2021年度（令和3年度）

男性・女性ともに約7割の方が運動習慣の改善が必要で、全国平均より高い。



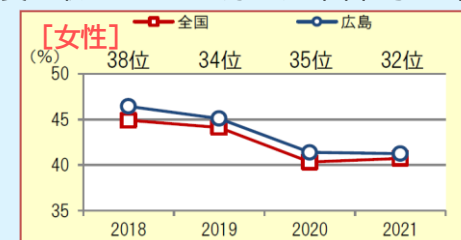
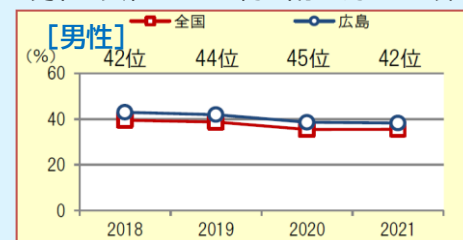
判定基準：

「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上1年以上実施している」と「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」と「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」に2問以上「いいえ」と回答した方の割合

■ 睡眠で休養が取れていない方の割合が高い

男性は38.3%（全国平均35.6%）、女性は41.3%（全国平均40.7%） ※2021年度（令和3年度）

男性・女性ともに約4割の方が睡眠で休養が取れていない方で、全国平均より高い



判定基準：「睡眠で休養が十分とれている」に「いいえ」と回答した方の割合

健康経営の取組みが健康度向上と医療費の節減につながります

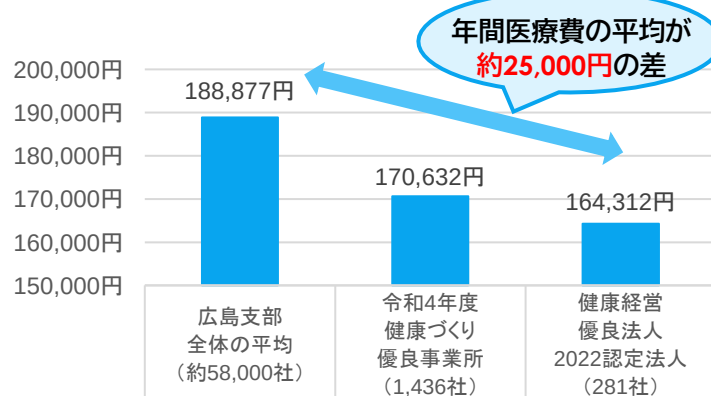
2021年度における従業員（被保険者）1年間の一人当たり医療費（10割分で算出）を比較すると右表のとおりです。

「健康経営」に積極的に取り組む事業所の年間医療費が少なくなっていることが分かります。

【比較対象】

- 広島支部全体の平均（約58,000社）
- 令和4年度健康づくり優良事業所（1,436社）
- 健康経営優良法人2022認定法人のうち、協会けんぽ広島支部加入事業所（281社）

《被保険者 一人当たり年間医療費》



経営者の皆様へ

「健康宣言」事業や「事業所健康度診断シート（事業所カルテ）」
を活用した予防・健康づくりの推進について

はじめに、経営者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の予防対策へのご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

従業員の健康増進は、企業の財産である従業員の活力向上や組織の活性化を通じて、企業経営の向上に寄与するものであり、企業と保険者が目指す方向性を共有し、一体となって従業員の健康増進を後押しすること（コラボヘルス）が必要です。

全国健康保険協会では、「健康宣言」に取り組む事業所などを対象に、従業員の健診結果等をもとにした「事業所健康度診断シート（事業所カルテ）」を発行しています。

事業所カルテは、業種別・事業所規模別のランキングや、県内・同業種平均との比較データにより、事業所の健康課題を「見える化」することを目的に、各支部が創意工夫して独自に作成しているものです。

経営者の皆様におかれましては、事業所カルテを通じて、改めて貴社の従業員の健康状況等の傾向を把握していただくとともに、保険者と連携して従業員の予防・健康づくりに繋がる職場環境を整備するなど、健康経営の取り組みを推進していただけますと幸いです。

令和4年3月

日本健康会議共同代表
日本商工会議所会頭

厚生労働大臣

経済産業大臣

三村明夫

後藤茂之

萩生田光一

- 全国健康保険協会（協会けんぽ）では、全支部で「事業所健康度診断シート（事業所カルテ）」を発行し、事業所ごとの健康課題を把握していただき、健康経営を推進していただいています。広島支部では「ヘルスケア通信簿」の名称で提供していますので、ご活用をお願いします。



全国健康保険協会 広島支部
協会けんぽ

ひろしま企業健康宣言
健康づくり優良事業所